

令和7年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 7

令和7年7月30日
糸魚川農業普及指導センター

1 7月30日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

田植日・調査ほ場	草丈	茎数	葉色
田植日 5月2～23日			
東海、西川原、東中、榎	並～やや長	やや少～並	淡～並

- 田植えの早いほ場では、出穂期を迎えています。
- 葉色は2回目の穂肥や必要に応じた3回目の穂肥、全量基肥体系における追加穂肥により持ち直し傾向ですが、淡いほ場が多く見受けられます。
- 調査ほ場の出穂期は以下のとおりです。

表 調査ほ場ごとの出穂期（田植え時期は下段調査結果表参照）

調査ほ場（地区名）	出穂期	調査ほ場（地区名）	出穂期
東海（早川地区）	7月28日	東中（根知地区）	8月5日（見込み）
西川原（今井地区）	7月30日	榎（能生地区）	8月1日（見込み）

2 今後の管理について

- 最新の1か月予報によると、今後1か月はかなりの高温で推移すると予想されています。後期栄養の確保（穂肥）と水管理がとても重要となります。
- 2回目の穂肥を施用した後も葉色が淡いままの場合は3回目の穂肥を施用してください（めやす：SPAD値で33未満の場合、出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で10a当たり1kg（例 越後の輝き有機50穂肥で8kg/10a））。
- 全量基肥（元肥一発）体系でも、葉色が淡い場合は出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で10a当たり1kg施用しましょう。
- 出穂期を迎え高温が続いているので、飽水管理を徹底してください。

3 7月30日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場場所 (田植日)	指標値 ※	東海 (5月2日)	西川原 (5月4日)	東中 (5月23日)	榎 (5月15日)
草 丈	本年値 (cm)		90	101	98	81	99
	平年比 (%)			105	106	91	107
	指標比 (%)			112	109	90	110
茎 数	茎数 (本/m ²)		370	327	362	375	340
	平年比 (%)			83	97	89	84
	指標比 (%)			88	98	101	92
葉 数	本年値 (葉)		12.8	13.0	14.0	12.9	13.2
	平年差 (葉)			-0.2	+0.6	-0.2	0.0
	指標差 (葉)			+0.2	+1.2	+0.1	+0.4
葉 色	本年値 (SPAD値)		32.0	29.1	30.8	30.5	33.4
	平年差 (SPAD値)			-3.7	-2.6	-1.8	-0.6
	指標差 (SPAD値)			-2.9	-1.2	-1.5	+1.4

※平年比・差とは、各調査ほごとの過去10年平均の生育値に対する現在の生育値の割合・差
※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差